2021 年度第４回支部研究部例会

2022．6．　25（土）
浪花区民センター＆WEB（zoom）上

ブロック研究に学び、実践づくりを行う！

ーベースボール型球技の実践を考える
・５年生の「野球」実践から学ぶー

１．今年度の支部研究について

昨年度から研究局・研究部の活動方針を今年度は、がらりと変えました。

◇支部研究テーマ「すべての子どもが運動文化の主体者となる授業づくり」
◇研究局方針
（１）各ブロックの研究に学ぶ。
（２）運動会研究の継続。
（３）世代交代に」耐えうる同志会実践（支部の実践を中心に）への振り返りや、その背景にある理論への研究にふれる。

「総会でも述べた通り、研究部が独自の例会を何度も企画することは大変難しい。今年度同様、ブロック、プロジェクトの研究活動と協同して例会を運営していくことになる。
研究局としては、ブロックの研究活動をサポートしていくという点で、研究局がアテンド役となり、ブロックの実践や研究に向けて、「学習会の講師派遣や実践助言役を手配する」という、サポートを行う。需要があるかは、ブロックの研究活動がスタートしないと判断できないが、そのようなサポート体制が存在することは、会員個人にとってもブロックにとっても、プラスになると考える。

これは、前年度の総括の中で前研究局長の古川氏が書いたものの要約です。研究部の活動内容と局の活動は、多くがリンクし、行われてきたことから考えて、大きく活動を転換する１年と考えました。まず、昨年度からの継続的な研究部活動について、次のようなものが考えられました。

①運動会分科会以降の運動会研究を継続する。
・今年度の運動会の動向と部員それぞれがどのように運動会に向き合うか
・子ども、教師、保護者が何に重きを置いて運動会を迎えるか？
②「子どもも教師もやりたくなる授業づくり」の継続
③実践に至るまでの理論研究

今回の例会は、②にあたります。ブロック研究に注目し、昨年度、支部例会として行った北河内ブロック主催によるオンラインでの「集団マット学習例会」のように、ブロック研究と支部研究局のコラボが、お互いの研究活動を盛り上げることにつながるのでは、と考えました。

そこで、2021 年度の研究局の具体的な活動は、
① 年間７回の支部研究例会の回数を４回とし、ブロック例会を支部例会（おもしろスクール）として位置付ける。
☆各ブロックに実践報告、実技例会、研究講座、年間研究の成果報告など、どのような形で例会を運営するか方針を決めてもらい、その報告をもとに研究局が例会の年間計画を決定する。
②研究部は、月１回の研究部会議において、これまでの同志会の研究成果や理論の学習会を行う。（学習会として位置付けるため、研究部以外からの参加も可能にする。）

②については、ニュースなどでも流している通りです。今回は、①の４回にしぼった最後の例会となります。

２．第４回の支部研究部例会について

今回は、豊能三島ブロックと研究部のコラボ例会です。実践提案は、体育同志会でも意外と少ないベースボール型の実践です。豊能三島ブロックでは、研究内容に沿って数名のブロック員がプレ実践をしてみました。本の数時間という実践もありますが、実践してみると、それまで「球技は嫌い！」と言っていた子どもたちの中から、夢中になって取り組む姿が見られたり、放課後公園で男女混じって遊びで楽しんだりする姿が見られたのです。ここだけを考えると、ベースボール型は、可能性が広がる教材のように思えます。

今回実践提案の中心となる先生は、教師歴３年目の池田優生先生です。「小５かっとばし野球」の実践報告です。「かっとばし野球」は、同じ豊能三島ブロックに所属していた田中宏樹先生が数年前に実践したものの追実践ともいえる実践です。本来であれば、そこからの発展を実践内容に含んだ計画でしたが、残念ながら、コロナ禍における時数不足で、内容が短縮されてしまいました。この例会では、実践内容とその後の計画もふくめて報告してもらいます。また、より実践内容を把握してもらうために、
・ベースボール型球技資料（安武氏）
・ベースボール型をやってみて（お試し実践を行ったブロック員からのコメント）
等の報告も行いながら、ベースボール型教材の教材的価値や実践の今後を探ります。

【日　程】

前半　　司会　（下村）　記録　（中村）※チャットによる

１４：００～１４：４５	ベースボール型球技資料の説明（安武氏）
	お試し実践の報告（ブロック員・研究部員）
１４：４５～１４：５５	質問・意見交換
１４：５５～１５：００	休憩

後半　　司会　（下村）　記録　（中村・日名）※チャットによる

１５：００～１５：４５	５年生のかっとばし野球実践報告（池田）
１５：４５～１５：５０	休憩
１５：５０～１６：２０	質疑・討議
１６：２０～１６：３０	まとめ＆挨拶（感想文）

☆また、実践報告用の資料は、ホームページに掲載します。あらかじめ目を通すか、プリントアウトする等、手元で見られるようにしておいてください。

第４回支部例会感想文用紙　　氏名（　　）